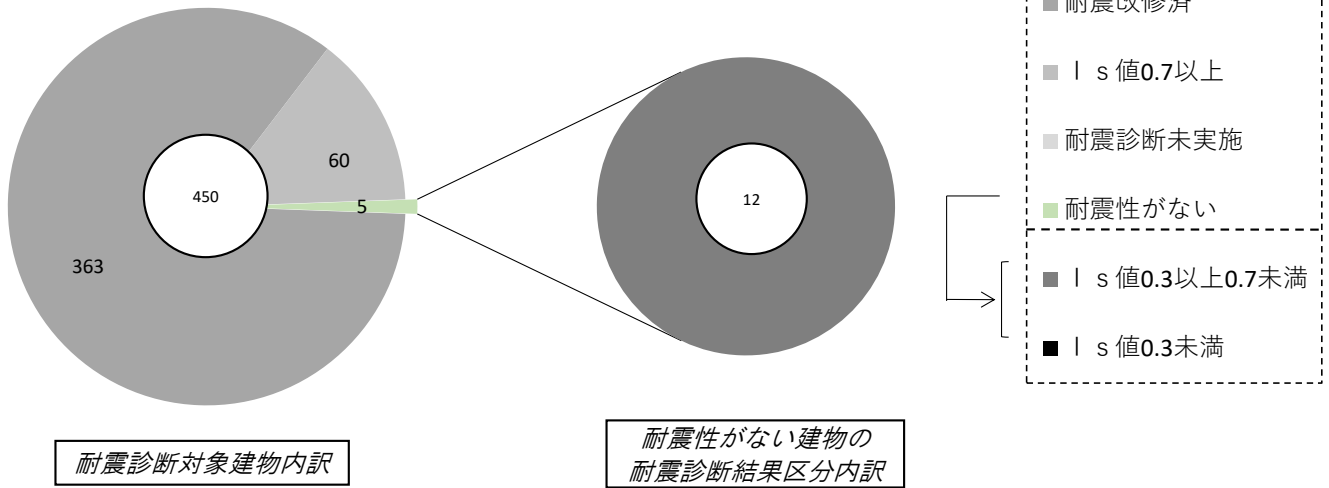


【全体集計】

単位:棟数

建物区分/学校種別		昭和56年以前の対象建物	耐震診断(2次診断)対象建物 計 428						耐震診断(2次診断)未実施
			耐震診断(2次診断)実施済建物 計 428						
			耐震診断結果が基準値(I s 値0.7)未満 計 368			耐震診断結果が基準値以上 計 60			
			耐震性がない建物			耐震性がある建物			
			I s 値0.3未満	I s 値0.3以上0.7未満	計(A+B)	耐震改修済	I s 値0.7以上	計(C+D)	
		診断結果区分	A	B		C	D		E
校舎	小学校	235	0	5	5	193	37	230	0
	中学校	126	0	0	0	109	17	126	0
	計	361	0	5	5	302	54	356	0
体育館	小学校	43	0	0	0	40	3	43	0
	中学校	22	0	0	0	20	2	22	0
	計	65	0	0	0	60	5	65	0
武道場	中学校	2	0	0	0	1	1	2	0
合計		428	0	5	5	363	60	423	0

昭和56年以前の耐震化対象建物診断状況分布  
合計 450棟



【診断結果区分説明】

区分	内容	説明
A	I s 値0.3未満	震度6強以上の大規模地震で倒壊等の危険性が高いとされており、早急な耐震改修(耐震補強等)が必要な建物(平成22年度中に耐震補強工事は完了しました。)
B	I s 値0.3以上0.7未満	震度6強以上の大規模地震で倒壊等の危険性があるとされており、区分Aに次いで耐震改修(耐震補強等)が必要な建物
C	耐震改修(耐震補強等)済	I s 値0.7未満の施設であったが、耐震改修(耐震補強等)を終えている建物
D	基準値(I s 値0.7)以上	震度6強以上の大規模地震で倒壊等の危険性が低いとされており、耐震改修(耐震補強等)を要しない建物
E	廃止予定等で耐震診断未実施	学校の統廃合などにより、建て替え又は廃止予定の建物であるため、耐震診断等を予定していない建物